

令和4年度小松島市事務事業評価シート

■事業の位置づけ（基本事項）

担当課係 危機管理政策課 危機管理担当

事務事業名	津波避難施設整備事業		事業予算費目		
総合計画上の位置付け	政策	③ 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり	款	9	消防費
	基本目標	3-5 安全・安心なまちづくり	項	1	消防費
	基本施策	3-5-1 防災・減災対策の推進	目	4	防災対策費
	主要施策	3-5-1-2 防災体制の整備	事業	9	津波避難施設整備事業

■事務事業の概要（PLAN）

事業の目的	大規模地震等による津波災害から市民の生命及び財産の保護を図るとともに、津波災害に対する不安を軽減するため、緊急一時的に避難できる津波避難施設を整備する。	事業の内容	小松島市津波避難計画において抽出された特定避難困難者（和田島北部地区）の解消を図るため、津波避難施設を整備する。
-------	--	-------	--

■事務事業の業績・推移（DO）

成果指標	指標名	単位		実績 R3	実績 R4	目標 R5	目標 R6	
		整備進捗率	%	目標		2	13	46
	指標の説明	実績			1			
	事業費ベース							
				R3年度決算	R4年度決算	R5年度予算	市民一人あたりのコスト	
関連事業費	事業費		0	2,611,350	16,863,000	R3	0	
	財源内訳	国県支出金				11,240,000	R4	72
		地方債				5,060,000	各年度4月1日現在の人口	
		利用者負担・その他					R3	36,670
	一般財源		0	2,611,350	563,000	R4	36,124	

■評価（CHECK）

事業の方向性		拡 充	縮小して継続	判定理由	和田島北部地区においては、平地で高台も無く、避難場所となる高層建築物も不足していることから、迅速かつ安全に避難できる津波避難施設の整備が急務となっており、施設の完成に向け、事業を継続していく必要がある。
		改善・効率化し継続	休止・廃止		
	○	現状のまま継続	完了		

■改善・効率化の方向性（ACTION）

今後の課題	令和5年度以降は詳細設計や建設工事の発注など、多額な予算確保が必要な業務を計画していることから、補助金の獲得など財源の確保に努める必要がある。
今後の方向性	国、県の交付金・補助金等を効果的に活用するとともに、的確なスケジュール管理のもと、令和7年度中の完成を目指す。